

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 6月24日更新

事務事業名		狂犬病予防事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2 緑豊かな環境と共生するまちづくり				所属部	総務部	課長名	北里 利朗
	施策	9 住環境の充実				所属課	環境衛生課	担当者名	高木 涼太郎
	施策の柱	23 環境衛生の充実				所属班	環境衛生班	(内線)	1144
予算科目		会計一般	款 4	項 1	目 7	事業連番 10118	根拠法令	狂犬病予防法 合志市犬による危害防止条例	成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度		☐ 27年度で終了 ☐ 27年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	昭和25年に「狂犬病予防法」が施行され、飼い犬への予防注射が飼い主の義務とされたことから開始した。狂犬病予防のため、年1回の狂犬病予防注射の案内通知の発送と一生涯に1回の飼い犬登録・変更申請受付、鑑札交付、狂犬病予防注射済票交付事務、野犬捕獲、迷い犬の受付・保護等を行っている。
【業務の流れ】	予防注射通知の発送、集合注射時の受付、注射済票交付、新規登録・変更申請受付、台帳作成（電算システム入力・出力）、捕獲檻設置・撤去、野犬捕獲、迷い犬の受付・保護
【主な予算費目】	職員手当等、需用費、役務費
【意見や要望】	市民から野犬捕獲、迷い犬保護等の通報や糞、放し飼い等の苦情がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO) 狂犬病予防注射通知事務、集合注射時の受付事務、注射済票交付、新規登録事務を行った。野犬捕獲、捕獲檻設置・撤去、迷い犬の受付・保護をした。予防注射実績 2,542 頭、新規登録件数 206 頭		28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 狂犬病予防注射通知事務、集合注射時の受付事務、注射済票交付事務を行う野犬捕獲、捕獲檻設置・撤去、迷い犬の受付・保護
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 予防注射済票交付数	頭	一般用消耗品費の減
→ イ 集団予防注射の実施時間数	時間	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
犬		→ ア 登録数
		→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
狂犬病発生の予防		→ ア 狂犬病予防注射頭数/登録数
		→ イ
* ③ 成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
犬の登録及び狂犬病予防注射は狂犬病予防法に基づいて行われており、狂犬病の発生及び蔓延を防止することが重要であり、成果指標を「狂犬病予防注射頭数/登録数」の割合とし、前年度同様「65%」を目標値に設定した。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費 の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込
① 活動指標	ア	頭	2,613	2,563	3,000	2,542	3,000	3,000	3,000	3,000
	イ	時間	40	40	40	40	40	40	40	40
② 対象指標	ア	頭	4,273	4,108	3,850	3,951	3,850	3,850	3,850	3,850
	イ									
③ 成果指標	ア	%	61	62	65	64	65	65	65	65
	イ									
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	473	528	867	766	623	623	623
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	30	275		2	2	2	2
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	503	803	867	766	625	625	625
		(A)のうち指定経費	千円	110	131	140	99	142	128	128
		(A)のうち時間外、特勤	千円	110	131	140	99	142	128	128
	人件 費	正規職員従事人数	人	7	5	7	0	7	7	7
		延べ業務時間	時間	1,186	1,028	1,115	0	1,115	1,115	1,115
		(B)人件費計	千円	4,725	4,095	4,442	0	4,442	4,442	4,442
トータルコスト(A)+(B)		千円	5,228	4,898	5,309	766	5,067	5,067	5,067	

事務事業名	狂犬病予防事業	所属部	総務部	所属課	環境衛生課
-------	---------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 老犬や室内犬の飼い主が、予防接種が必要ないと考えているため。 今後、広報等で未注射犬の飼い主に、予防接種が必要であることを知らせていく。
	②28年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 定期的な周知や狂犬病予防注射未実施者については可能な限り戸別訪問を実施する。
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 狂犬病の恐ろしさを更に市民に警告することで予防注射の全頭実施に向け努力中。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業なし
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 鑑札・犬啓発看板は余りがあるため、削減の余地あり
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 野犬捕獲・予防注射時の職員は、委託可能であれば正職員以外でも可能。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 狂犬病予防、畜犬関係から全市民に関係し公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 法律に基づき市が行う事業だが、狂犬病予防注射の実施等に関しては獣医師会の協力が不可欠である。

3 評価結果の総括（CHECK）

昨年度同様、予防注射の案内を春秋の2回送付していたが、予防注射接種頭数は伸び悩んでいる。更なる広報活動に努める必要がある。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐ 廃止

☐ 休止

☐ 目的再設定

☐ 事業統廃合・連携

☐ 事業のやり方改善（有効性改善）

☐ 事業のやり方改善（効率性改善）

☐ 事業のやり方改善（公平性改善）

☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策